

放課後等デイサービス自己評価表 2020年度版(2020年4月~2021年3月)

	チェック項目	自己評価実施=2021年3月 自己評価結果 A=100~90% B=89~70% C=69~0%	ABC 評価	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか		A	
	職員の配置数は適切であるか		A	児童指導員：児童ができるだけ1：1になるように配置
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		C	1棟はスロープ対応ができていますが・・・
業務 改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか		A	毎年4月に業務整理を実施
	保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		B	家庭訪問、面談による把握が中心
	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか		A	ぜひ見てください
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		C	第三者評価の対象事業にしてほしい！！
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		A	1年間の研修計画(全員)を毎年策定
適切 な 支 援	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか		A	成長に応じて、都度アセス実施
	子どもの適性行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		B	ツール、メソッドは使用せず。社会福祉士面談技術の項目を使用
	活動プログラムの立案をチームで行っているか		A	年間、月間、日々と毎日チームで確認
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		A	〃
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		A	他に、天候も考慮
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		A	個別支援計画書参照

の 提 供	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	A	朝、昼に職員ミーティング
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	B	送迎から戻る時間のばらつきにより、記録で共有
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	B	「正しく」？・・・日々の利用者状況の記録と共有は行っている
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	B	半年に一度を定期的といえるかどうか
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	A	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	A	
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	A	個別級担任からも、直接連絡をいただいている。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		（対応なし）
	就学前委に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	C	地域療育センターとは行っている
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	A	相談事業部と連携し、卒業後の利用者状況の確認もしている
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	C	
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	C	2020年度は不可能
	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	B	「瀬谷区放課後等デイ連絡会」を主宰。自立支援協議会が合流を望まない。
	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	A	
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	A	急なトラブルなど、即応している
運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	A		

保護者への説明責任	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に積雪に応じ、必要な助言と支援を行っているか	A	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	C	地域的に、家庭からの支援が受けにくい。会を作る理由が見当たらない。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	B	毎年「未来CAN利用のてびき」を更新し、苦情についても周知。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	A	ホームページをぜひご覧ください
	個人情報に十分注意しているか	A	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	A	
非常時等の対応	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	C	2020年度は不可能
	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	A	上記「未来CAN利用の手引き」
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	A	〃 子どもとは年3回、職員では年2回
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	A	
	どのような場合に已むをえず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	A	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	A	
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	A	今年度からさらに強化している。1日一人1枚は提出となっている。